

池上武男

Takeo Ikegami

山内悠

Yu Yamauchi

五味謙二

Kenji Gomi

橋口優

Yuu Hashiguchi



山内悠
《自然jinen 世界world #01》
2016年

池上武男
《墨猿》
2012年



五味謙二
《shi-tou 「パン」》
2020年
撮影：林周彦



橋口優
《どこでもお茶2》
2023年

情景をひらく

CONTACT

2023年

7月23日(日)

9月3日(日)

茅野市美術館

開館時間：10時～18時

観覧料：一般500円(300円) 高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料。

休館日：毎週火曜日

主催：茅野市美術館

助成：一般財団法人自治総合センター、

公益財団法人野村財団

後援：長野県、長野県教育委員会、茅野市、

茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、

諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、

富士見町教育委員会、原村教育委員会、

諏訪教育会、信州美術会、諏訪美術会、

茅野市美術協会、岡谷市美術会、諏訪市美術会、

下諏訪美術会、富士見美術会、信濃毎日新聞社、

長野日報社、市民新聞グループ、FM長野LCC、

月刊ふらざ、JRR東日本、長野支社、

一般社団法人長野県観光機構、
諏訪地方観光連盟、茅野商工会議所、
信州諏訪農業協同組合
協力：NPO法人サポートC美遊com。

Chino City
Museum
of Art
ヒラメキをカタチに
つなげよう、届けよう



CONTACT

情景をひらく

茅野市美術館では、諏訪地域ゆかりの現代作家4人の展覧会を開催します。

墨やアクリル絵の具の造形から、「偶然に必然を重ねることから生じるリアル」を求めて描く画家・池上武男（1964-、諏訪市出身）。富士山、モンゴル、屋久島などに逗留して自然と接し、内（自身）と外（外界）との関わりを写しつづける写真家・山内悠（1977-、茅野市在住）。

土の素材感と風化した質感で、原始的で生命感あふれる造形作品などを手がける陶芸家・五味謙二（1978-、茅野市出身）。子ども時代の情景や山との関わりを題材に、油彩画や羊毛フェルトを用いた作品などで表現する画家・橋口優（1984-、茅野市出身）。「CONTACT（コンタクト）」には「接する、触れ合う、つながる、交流する」といった、自己と他との関わりを表す意味があります。作家が自然や事象に接した感覚を表現としてひらき、その作品に触れることで鑑賞者に新たな情景がひらかれてゆく。いまを生きる作家たちの、この地とのつながりや表現をみつめる本展を、どうぞご鑑賞ください。



山内悠 〈planet N45°42'13.1"E107°11'51.9"-#01〉 2018年



橋口優
《和解〜木彫りの熊〜》
2023年

池上武男
山内悠
五味謙二
橋口優

CONTACT—情景をひらく

池上武男・山内悠・五味謙二・橋口優

2023年7月23日(日) ——— 9月3日(日)

●関連イベント

アーティストトーク—池上武男・五味謙二

日時=8月6日(日)14:00開始

話し手=池上武男(画家)、五味謙二(陶芸家)

会場=茅野市美術館

参加費=無料(要展覧会チケット・要事前申込み)

定員=30名

アーティストトーク—山内悠・橋口優

日時=8月19日(土)14:00開始

話し手=山内悠(写真家)、橋口優(画家)

会場=茅野市美術館

参加費=無料(要展覧会チケット・要事前申込み)

定員=30名

きてみて!ギャラリーツアー

お話をしながら作品を鑑賞します。

日時=8月11日(金・祝)11:00開始

会場=茅野市美術館

参加費=無料(要展覧会チケット・要事前申込み)

定員=10名

ファシリテーター=茅野市美術館サポーター・学芸員

学芸員によるギャラリートーク

日時=9月1日(金)14:00開始

会場=茅野市美術館

参加費=無料(要展覧会チケット・要事前申込み)

定員=30名

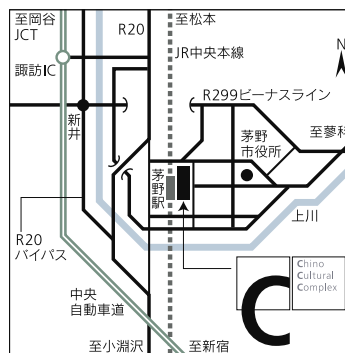
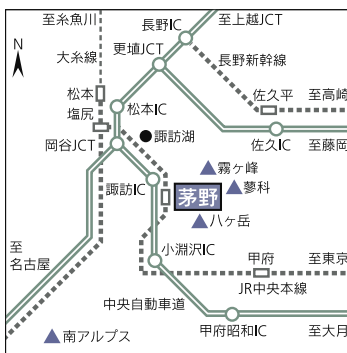
※茅野市内小中学校との連携事業を開催予定です。詳細はウェブサイトでご案内します。



池上武男 〈幻影〉 2015年



五味謙二 〈彩土器〉 2023年 撮影:林周悟



■JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
■中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

茅野市美術館

TEL 0266-82-8222

FAX 0266-82-8223

長野県茅野市

塚原一丁目1番1号

茅野市民館内

<http://www.chinoshiminkan.jp/>